

本邦製鐵事業振興策調查書

第三項

本邦、支那、南洋諸島、西伯利亞、印度等東洋各方面

に於ける製鐵原料の分布鑛量調査

總說

本邦に於ける鐵鑛の調査は今尙ほ不完全にして今日迄に施行せられたるものは概ね地上の踏査に止まるのみならず、其地上の調査すら尙且つ全國に遍からず、加之ならず各鑛床は一般に其形狀極めて不規則なるを以て鑛量の測定實に容易ならず、從て鑛量等に就ては各調査者の意見に大なる懸隔ありて信賴すへき記録に乏し、故に詳細なる調査の報告は止むを得ず之を他日に譲り茲には其概略を述るに過ぎず。

本書に於ては概して地質上の分布は之れを省略して主に地理上の分布にのみ止めたり。

(1) 亞細亞州の鐵鑛量

亞細亞の鐵鑛量は全般としては未だ探究せられざる個所多く、本邦の鑛量に就ては比較的詳細に調査せられたれども、西伯利亞、支那、英領印度、其他諸國の鑛量調査は頗る不完全にして特に西藏、アフガニスタン、支那の一部等比較的本州に於て廣大なる區域を占むる方面は未だ全く踏査せられざるを以て不明に屬す。

亞細亞州に於ける鐵鑛及相當鐵量 (單位百萬噸)

國名及地名	鐵鑛種類	現存の鑛量		將來有り得べき推定鑛量	
		鐵鑛量	相當鐵量	鐵鑛量	相當鐵量
亞細亞露西亞					
キルギス、ステツプ	磁鐵鑛	—	—	七	四、二
東部西伯利亞	同	—	—	一四	七、六
極東	磁鐵鑛、赤鐵鑛、褐鐵鑛	—	—	六	三
合計				二七、十相當量	一四、八、十相當量
英領印度	磁鐵鑛、赤鐵鑛、褐鐵鑛	一〇〇	六五	四〇〇、十相當量	二五〇、十相當量
支那	同	三七八	一九〇	蓋し莫大量	蓋し莫大量
日本	同	七〇	三五	三〇	一五
朝鮮	同	三〇	一五	三〇	一五
ヒリツピン諸島	磁鐵鑛、赤鐵鑛	六	三	四	二
英國領土	褐鐵鑛	二五	一三	多量	多量
蘭領殖民地	褐鐵鑛	一〇〇	五〇	同	同
合計		七〇九	三七一	四六四、十莫大量	二八〇、十莫大量

(イ) 亞細亞露西亞に於ける鐵鑛分布

亞細亞露西亞に於ける鐵鑛量は殆ど調査未了にして、主要なる鑛層はキルギススケツプ、タルキスタン、アルタイ及トムスク、東部シベリヤ極東沿岸地方に出現す、キルギススケツプに於て鐵鑛は銀及銅鑛に比し其量も少く現在に於て之等鑛層は未だ稼行されず、キルキスタンに於ける鐵鑛は現在經濟上價值あるものとは認められず單に理論上のものたるに過ぎざるへし、而してアルタイ、トムスク